

各 位

会社名 株式会社クイック
 代表者名 代表取締役社長 和納 勉
 (J A S D A Q : コード番号 4 3 1 8)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 藤原 功一
 (TEL 0 6 - 6 3 7 5 - 0 0 6 1)

平成 1 9 年 3 月期中間および通期 (連結・単独) 業績予想および配当の修正について

平成 19 年 3 月期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日) の業績予想について、平成 18 年 5 月 10 日付当社「平成 18 年 3 月期決算短信 (連結・単独) 」にて発表いたしました業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(単位 : 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	5,100	140	70
今回修正 (B)	5,230	277	138
増減額 (B - A)	130	137	68
増減率 (%)	2.5	97.9	97.1

修正理由

- ・ 売上高におきましては、人材紹介事業でのキャリアコンサルタントの早期成長や登録者募集サイトの充実を図る他、IT 事業・出版事業でのメディア強化による効果が出たことにより、好調に推移いたしました。経常利益、中間純利益は東京事業所の拡充などの費用を吸収し、増収効果により想定以上の増益となる見通しであります。

(2) 通期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位 : 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	11,500	720	360
今回修正 (B)	11,500	760	380
増減額 (B - A)	0	40	20
増減率 (%)		5.6	5.6

修正理由

- ・ 下半期につきましては従来予想に対し、来期以降展開を予定しておりました、採用広告戦略の実施など先行投資を計画しております。

(3) ご参考 : 前期の実績 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(単位 : 百万円)

	売上高	経常利益	純利益
中間期 (H17.4.1 ~ H17.9.30)	4,843	180	77
通 期 (H17.4.1 ~ H18.3.31)	10,633	654	347

2. 平成 19 年 3 月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 中間配当金
前回予想 (A)	2,400	30	16	2 円 00 銭
今回修正 (B)	2,500	163	130	2 円 50 銭
増減額 (B - A)	100	133	114	50 銭
増減率 (%)	4.2	443.3	712.5	

修正理由

- ・ 売上高におきましては、主力事業であるリクルーティング (求人) 広告事業の東京・名古屋地区が各企業の求人意欲に支えられ好調に推移いたしました。また人材紹介事業でのキャリアコンサルタントの早期成長や登録者募集サイトの充実を図りました。経常利益、中間純利益は子会社からの配当金を計上する一方で、人員増や東京事業所の拡充などの費用を吸収し、増収効果により想定以上の増益となる見通しであります。また配当金につきましては、通期連結純利益の予想を増額したことにとともに、その 30% 以上を目安としていることから増配予想としました。

(2) 通期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 期末配当金
前回予想 (A)	5,860	340	210	6 円 00 銭
今回修正 (B)	5,860	440	260	6 円 50 銭
増減額 (B - A)	0	100	50	50 銭
増減率 (%)		29.4	23.8	

修正理由

- ・ 経常利益、当期純利益につきましては、中間期と同じ理由により前回予想を上回る見込みであります。

(3) ご参考: 前期の実績 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	純利益	1 株当たり 年間配当金
中間期 (H17.4.1 ~ H17.9.30)	2,432	123	101	2 円 00 銭
通 期 (H17.4.1 ~ H18.3.31)	5,559	373	181	6 円 00 銭

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上